



(本 社)	甲府市増坪町74	TEL055-241-3151 FAX055-241-8530
(営業所)	上野原市新田661	TEL0554-62-3321 FAX0554-62-3322

納涼の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、いつも弊社をご利用いただき誠にありがとうございます。ワクチン接種が良い方向に向かう事を祈りつつ、世界情勢と国内景気状況を注意していきたいと思ひます。今回はSUS630についてお伝えします。

(営業部 望月)

<編集者>

塚原 佳由
望月 博隆
小林 龍也
村松 貴
赤木 健三
山田 幸平



鋼種 Q & A ~SUS630について~

SUS630は熱処理によって高硬度にしたステンレスです。析出硬化処理によりマルテンサイト地に金属間化合物を生じさせ、非常に高い硬度を得られるステンレスです。析出硬化とは固溶化熱処理(液体化熱処理)の後、時効硬化(析出硬化)を行って硬化させることを言います。耐食性は、オーステナイト系と比べると劣るものの、フェライト系よりも優れています。オーステナイト系>析出硬化系>フェライト系 3Dプリントに使用されます。SUS630は各材料メーカーによって成分の比率に多少のバラツキがありますが、高硬度かつ耐食性に優れている点は変わりありません。17-4PHと表記されることもあるSUS630はCrが17%、Niが4%含まれています。

基本的に固溶化熱処理(熱処理記号S)の後に、析出硬化熱処理(熱処理記号H)を行ってから使用されます。JIS規格では、熱処理によってH900・H1025・H1075・H1150から4段階の熱処理に分けられており、H1150からH900にかけて硬度が高くなります。

加工性と切削性では、固溶化熱処理(熱処理記号S)の場合でも硬さがあるため、切削速度が上げにくく、工具寿命は短くなる傾向にあります。SUS304と比べると切削性は良好ではあるものの、析出硬化処理を行うと、寸法が0.10~0.15%程度縮む傾向にあるため、精度の求められる加工が必要な場合は注意しなければなりません。

析出硬化後の硬度はHRC40程度のため、析出硬化後の加工もできますが、析出硬化前と比べると加工はしにくくなります。

種類	熱処理記号	熱処理	引張強さN/mm ²	耐力N/mm ²	伸び%	硬度HRC
固溶化熱処理	S	1050°C/WQ	1137	657	17	31
析出硬化熱処理	H900	S処理後 480°C/AC	1392	1245	17	42
	H1025	S処理後 550°C/AC	1137	1049	19	36
	H1075	S処理後 580°C/AC	1088	960	20	32
	H1150	S処理後 620°C/AC	1029	813	23	29

注意

SUS630の形状は切板とピーリング材と六角材です。その他にH000と付けて注文することがあります。例えば、SUS630H900と、図面に書いてありましたら必ず注文の際は表記してください。

★社長のワンポイント★すべての仕事に対してデジタル化という波が覆い被さり、コロナウイルスの影響で一気に加速したIT業界。製造業もその影響は良くも悪くも大きな要因となって、この3年間続いた米中半導体戦争の一筋の光明となり、景気高揚となっている現在だと思われま。その一方でホンダは8月に予定している鈴鹿製作所(三重県鈴鹿市)の稼働停止日を追加し、アップルとテスラは半導体不足で商品の供給不足によいよ陥る状況。このままでいくと世界的な半導体不足の解消が2022年以降に遠く公算が大きくなっているとして、業界が主要商品の計画見直しを検討している様子。需要と供給のバランスが大きく狂っている現状です。山梨の製造業はやはり、半導体製造装置が主体で商いされている会社が多く、この流れは今までの経験値という生産計画の調整が必ず突然起こると思います。需要先はまだまだ足りない状況。5G関連は勿論、自動車、通信、データセンター、教育業界、管理する側の行政もこのデジタル革命の真只中で、県民市民の情報管理という部分が立ち回っている事も、コロナであからさまになったと思ひます。日本の経済から垣間見られる、ワクチン接種から始まった平和ボケ日本の危機管理能力不足が露見し、医療は勿論、国民管理が制御不能に陥り、オリパラ後の冬に入った時、再度コロナウイルスの影響・・・第5波の脅威にさらされる。デジタル化という視点で世の中を見てみると、変化の中に危機管理が妨げられた日本の姿がよく見られます。多くの会社が予防しながらの商い・・・まだまだ続くと感じております。

★国中エリア 塚原★コロナ感染者の報道が毎日されている中、オリンピックが開催されました。開催されるまで色々ありましたが、代表選手の方達には頑張って良い記録を出していただきたいと思ひます。7月国中動向ですが、全体的に動きの良い状況になっておりますが、半導体関係は7月、8月と少し落ち着き、9月から年末に向かって再度稼働が上がり行くようです。車、トラック関係では、乗用車の販売が好調な事もあり生産ベースは高稼働な状況です。トラックに関して大型、中型、小型と生産は良くなっていると聞きます。切削機械メーカーでは、メンテナンスから販売まで動きは良くなってきた様です。猛暑日になる日も多くなってくるので、体調管理には気を付けて下さい。

★郡内エリア 望月★暑い季節となりました。ワクチン接種が進んでいますが、入荷が少なく足りないとニュースで聞こえております。どうなるでしょうか?7月の郡内の動向ですが、半導体関係では、好調をキープしております。8月は少し落ちる傾向と聞いております。工作機械関係では、1社が相変わらずロボット系が好調のようです。もう1社も動きが出てきており海外向けが動いているようです。自動車関係では、半導体不足と危惧していますが、自動車関連部品で好調、増産しているそうです。全体を見て、半導体や工作機械などは海外向けが好調ですが、国内向けは相変わらず厳しい状況です。昨年のコロナ渦と比べれば仕事に動きがあります。また、突発的な仕事(例えば一回のみの仕事)も出てきました。少しずつではありますが、昨年と比べて動きだしています。ワクチン接種も進めば良い方向に向かうと思ひますので今後の動向を見ていきたいと思ひます。

★上野原エリア 山田★夏本番となり非常に暑い日が多いですがマスクなどをしているためしっかり水分補給を行って熱中症対策を心がけてください。動向ですが半導体関係は好調ですが、部署により差が大きく、9月までの予定は出ているもののその先は減少気味になるとのお話も出ているため、今後の動きに注意して行きたいと思ひます。トラック関係では試作の仕事が出て来ていますが、手直しや改造が多く新規立ち上げは少ない様です。海外向けの仕事は海外で加工を行ってしまっているようです。東京、埼玉、神奈川県も同じような状況で、半導体関係や医療機関係が好調なようで、忙しく稼働されている企業様が多い様です。しかしながらどちらのエリアも単価競争、加工賃値下げなど厳しい状況が依然として続いています。東京には緊急事態宣言も出ていますが、この先の動きにしっかりと目を向け情報を集めていきたいと思ひます。